



- 山口登山口
- ↓ 0:26
- 林道へ
- ↓ 0:06
- 鉄塔43入口
- ↓ 0:07
- 鉄塔43号
- ↓ 0:15
- 鉄塔42号
- ↓ 0:09
- 鉄塔分岐
- ↓ 0:12
- 北帝門跡
- ↓ 0:11
- 北峰(412m)
- ↓ 0:18
- 北帝門跡分岐
- ↓ 0:09
- 西休息所
- ↓ 0:11
- 基山(404m)
- ↓ 0:12
- 東屋
- ↓ 0:05
- 山口分岐
- ↓ 0:15
- 万葉歌碑
- ↓ 0:10
- 林道横断
- ↓ 0:20
- 山口登山口

基山(404m)

2019.05.22(水) 晴れ

山口登山口～林道～鉄塔43号～鉄塔42号～鉄塔41号～鉄塔40号～鉄塔39号～鉄塔38号～鉄塔37号～鉄塔36号～鉄塔35号～鉄塔34号～鉄塔33号～鉄塔32号～鉄塔31号～鉄塔30号～鉄塔29号～鉄塔28号～鉄塔27号～鉄塔26号～鉄塔25号～鉄塔24号～鉄塔23号～鉄塔22号～鉄塔21号～鉄塔20号～鉄塔19号～鉄塔18号～鉄塔17号～鉄塔16号～鉄塔15号～鉄塔14号～鉄塔13号～鉄塔12号～鉄塔11号～鉄塔10号～鉄塔9号～鉄塔8号～鉄塔7号～鉄塔6号～鉄塔5号～鉄塔4号～鉄塔3号～鉄塔2号～鉄塔1号～北峰(412m)～北帝門跡分岐～西休息所～**基山(404m)**～東屋～山口分岐～万葉歌碑～林道横断～山口登山口



筑紫野市の県道137号山口で左折し八反田橋を渡り、上り詰めた所が**山口登山口**で傍の空き地に駐車する。



九州自然歩道が通っており「**基山山頂**1.4km」の案内板が立つ。



直ぐにイノシシ避けの**ゲート**に出会い3ヶ所のカラビナを外し奥へ向かう。



右の樹木の下に**社**を見る。



竹林を通過する。



緩やかに登って行く。



左に案内板を見る。



ヒュム管むき出しの**沢**を通過する。



右の案内板の所から**林道**へ左斜路を登って行く。



林道への分岐傍に立つ案内板。



灌木を分けて緩く登って行く。



林道に出会い左折する。



林道を道なりに進む。



鉄塔43入口 右の九電巡視路に入る。



傍に鉄塔標柱を見る。



ひと登りすると鉄塔43号を見上げる。



ヒノキ植林地に行く。



巡視路のブラ階段を登って行く。



尾根筋斜面を左に緩く巻いて行く。



弱いピーク上に鉄塔42号が聳える。



スギ植林地に行く。



ブラ階段を降る。



ブラ階段を登る。



鉄塔分岐から南へ向かう。



かろうじて残る北帝門跡の石積みを通過する。



その先左の北帝城址碑に立ち寄る。



西の草付斜面の踏み跡を辿り登って行く。



北峰(412m)はカヤに覆われた鈍頂。



周囲を樹木で囲まれ、展望は得られない。



植林の奥に展望台を望む。



北帝門跡分岐を通過する。



南西斜面の踏み跡を登る。



展望台が近づいた。



展望台に到着。



宝満山

大根地山

砥上岳

古処山

西休息所からの展望。



西休息所。



基山(404m)の山頂には一等三角点:防住山が設置され360°の展望が得られる。



傍に霊験あらたかな壺々石、奥に天智天皇欽仰之碑を見る。



天智天皇欽仰之碑

耳納山地

久留米方面を望む。



天智天皇欽仰之碑。



東休息所。



西へ緩く降って行く。



九千部山

脊振山

九千部山から脊振山を望む。



東屋にはトラロープが張られ使用禁止状態。



杓子ヶ峰

城山

東屋から久留米方面を望む。



草スキー場の一部はネットで囲まれ芝の養生中である。



草スキー場上部を望む。



天祥湖方面を望む。



自然歩道の山口分岐から降って行く。



板橋を通過する。



植林地の平坦路を行く。



右に案内板を見る。



林道終点の万葉歌碑に出会う。



案内板の傍から降って行く。



新緑の下、緩やかに降って行く。



林道を横断する。



スギ植林地を降って行く。



林道へを通過する。



竹林を通過する。



ゲートを通過する。



山口登山口に帰り着いた。



ユキノシタ



テイカカズラ



ナルコユリ



ハナミョウガ



ヤマハタザオ



ガクウツギ



カキ



スイカズラ



ミヤマイボタ